

いしのまき

リハ専門職から 仕掛ける 多職種の **輪**

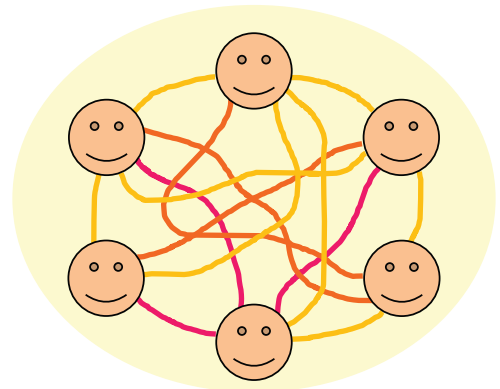
東部保健福祉事務所健康づくり支援班
技術主査 浅野 直子

多職種連携は

いつまで経っても 「地域の課題」

😊 「顔がみえる関係」 😊
「互いの役割を知ること」

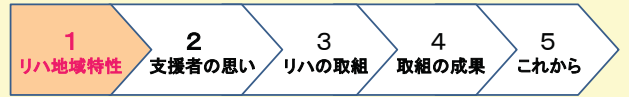
そこから どう次の一歩を 踏み出すのか



時間はかかるけれど、一番の近道

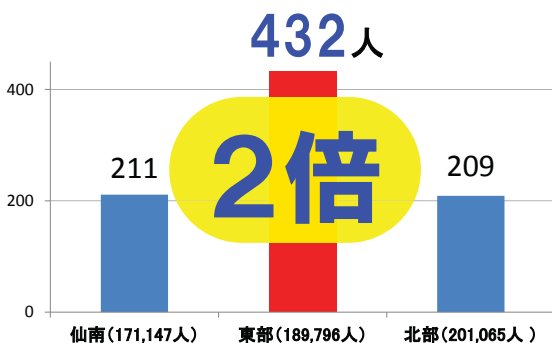
仲間づくり ≡ 連携?

1 いしのまき リハビリテーション 地域特性



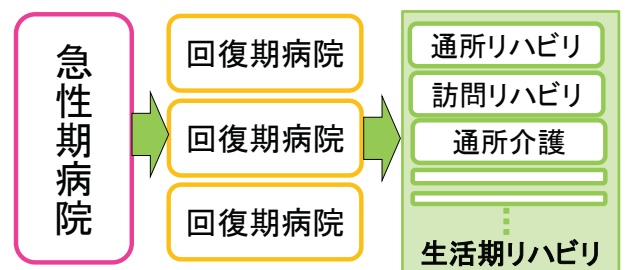
1.リハ地域特性

①リハ専門職が多い



1.リハ地域特性

②リハビリテーションが 管内で完結できる

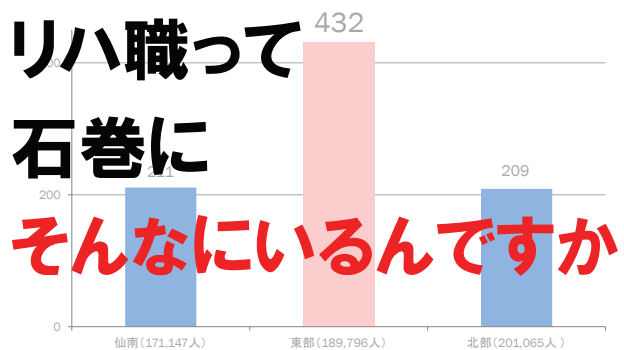


③障害児の外来リハビリを担う病院がある

2 いしのまき 支援者それぞれの思い

1 リハ地域特性 2 支援者の思い 3 リハの取組 4 取組の成果 5 これから

多職種支援者の思い



高齢者 身体機能訓練
ほかに
どんなことが
できるんですか？
 歩行訓練 マッサージ

ROM 背屈 ↓
 MMT3
 Brunnstrom stage II
専門用語は
よくわかりません

リハ専門職の思い

地域支援を見る機会がない
ケア会議に呼んでほしい
リハビリを理解してほしい

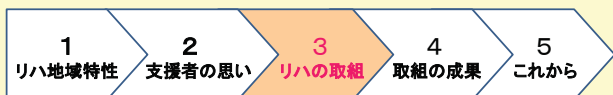
解決に向け 行動してありますか？

自分たちの行動から
変えていこう

多職種連携を リハ専門職から 仕掛けよう!!

3

いしのまき リハ専門職の 取組



リハ専門職による 在宅支援の会



地域課題解決の取組を企画・実践

企画員のみなさん

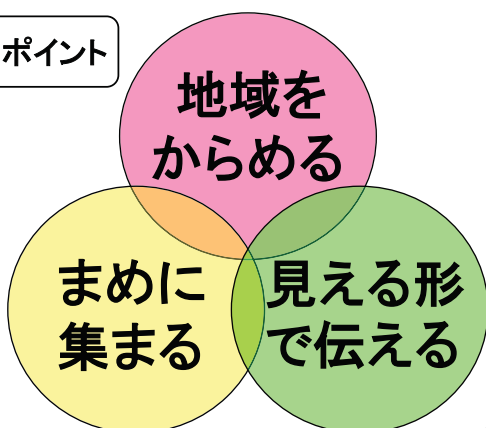
仕事が終わった後
集まっています

こんなリハ専門職を目指そう

- ① 地域を知り、積極的に情報共有できる
- ② リハビリをわかりやすく伝えられる
- ③ 地域から求められる役割に対応できる
- ④ 地域でつながりのあるリハビリを提供できる

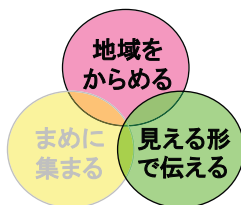
そのための取組を考えよう

取組のポイント



多職種支援者を巻き込んだリハの取組

- ▶ 障害児・者の地域支援見学会・報告会 (11回)
- ▶ 障害児支援者研修会 (1回)
～子どものおもちゃ遊びを個別支援に活かす～
- ▶ 子ども支援相談会 (5回) 障害児リハ
- ▶ いしのまきリハスタイルプロジェクト (5回)
- ▶ 通所リハスタッフ勉強会 (3回)
- ▶ 高齢者の多職種支援者研修会 (1回)
～生活期リハの役割を知る～ 通所リハ 訪問リハ



障害児・者の 地域支援見学会

[障害児リハ部門] H29, 30年度

児童発達支援

特別支援学校

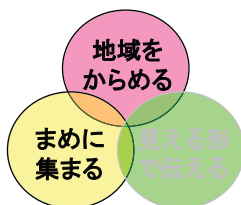


ライフステージ全体から
今必要な支援を考える

就労継続支援 (B型)

見学報告会

多職種支援者と一緒に
地域支援をふり返る会



子ども支援相談会

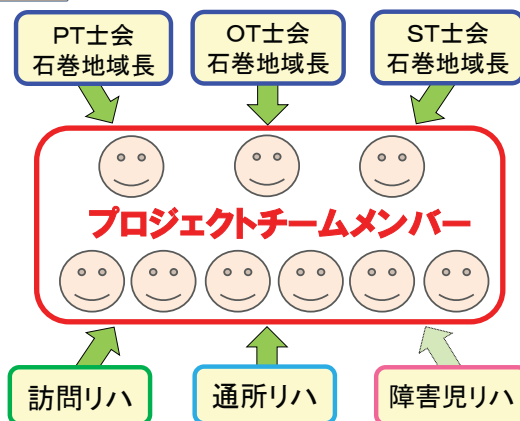
[障害児リハ部門] H29年度～

子ども支援相談会

多職種支援者が
ちよつと悩みを相談できる会

いしのまき リハスタイルプロジェクト

[通所リハ・訪問リハ部門] H29年度～



チームミーティング

リハビリテーションの考え方・役割をもっとわかりやすく伝えたい

高齢者の社会参加・自立支援に向け多職種連携したい

リハビリテーションの“見える化”

高齢者が自分らしく在宅生活を送るためのリハビリテーション ~つなぐ！石巻~ 作成

考え方を共有 多職種連携の土台

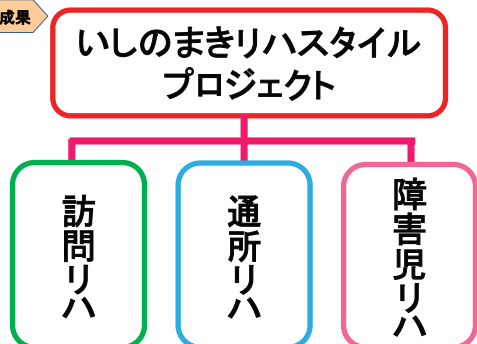
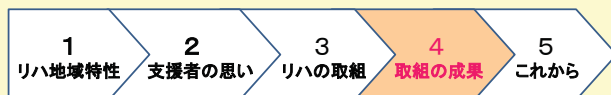


リハ専門職間で 共通認識

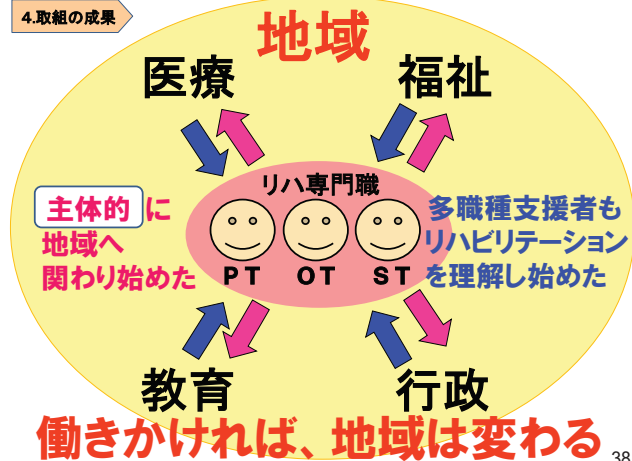
多職種支援者に伝え続ける

4

いしのまき リハの取組成果



同職種が集まる場ができた 多職種への認知度もUP↑

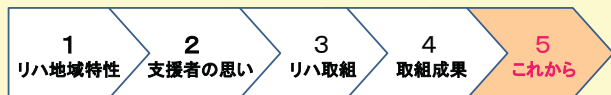


リハ専門職

1人1人の顔が見えてきた！

5

いしのまきのこれから



いしのまきリハスタイル
プロジェクト

継続

訪問
リハ

H28年度自主化

通所
リハ

H31年度～

障害
児リハ

H31年度～

自主活動化

多職種で一緒に考える場へ ⁴¹